

楽しく遊んで心が育つ

世界の ボードゲームで 遊ぼう



期待と緊張の新年度、親子で遊んで子どもの生きいきする世界を広げましょう。

我が子の意外な一面や個性に気づいたり、やる気を伸ばすヒントが見つかるかもしれません。

「キャプテンリノ」「ハリガリ」「ガイスター」など、約40種類あるボードゲームから好きなものにチャレンジ！ お絵かき、小麦粉粘土コーナーもあります。

わくわく・ドキドキ…あらたな出会いがふえる春心が喜ぶボードゲームで遊びましょう

元気、やる気がわいてくる 幸せ気分いっぱいになる

参加者アンケートより



こんなに面白って
知らなかった！友達
とも遊んでみたい



遊びだから
失敗も挑戦も
へっちゃらだ



ドキドキ、
ヒヤヒヤ、
めっちゃ楽しい



積極的になり、
主体性が育って
いると感じる



自分のいろいろな感情
に気づき言葉で表現す
ることがふえてきた



子どもの能力を
見逃していたこ
とに気づいた

2025 **4.26** sat **13:30▶15:30**

会場 平塚市中央図書館 3階ホール 平塚市浅間町 12-41

対象 3歳～小学生とご家族 ※対象外のきょうだいの参加可

定員 15組(先着順)

参加費 100円(子ども一人につき・資料代)

申込方法

4/5(土)9時から受付開始。参加の可否は5日以内にメールでお知らせします。返信がない場合はご連絡ください。上記の二次元コードからメールにて必要事項を記入の上お申込みください。

お問合せ

①代表者氏名 ②参加人数(子どもの人数とそれぞれの年齢、大人の数) ③連絡先携帯番号
親と子の寺子屋ふれあい自遊塾 070-2629-1986 jiyujyuku.koyurugi@gmail.com

■主催 平塚市中央図書館 ■共催 親と子の寺子屋ふれあい自遊塾

この事業で得た個人情報は、この事業に関するものみに使用します。



心の子育て 主体的に遊んで育つ子どもの心



※無断でのコピー使用はご遠慮ください。

遊んで育つ子どもの心

子どもにとって遊びは命、生きることそのもの、とくに人とかがわりあって遊ぶことは重要です。

遊びのなかでさまざまな心揺さぶられ、「嬉しい」「悔しい」といったありのままの自分を出しながら心がふれ合う喜びをとおりて人とかがわりを学んでいきます。自分らしく社会に適応する柔軟な心が育まれます。人が育つ環境が大きく変わりデジタル機器の普及もあって人とかがわりあう遊び体験が少なくなりました。それは近年深刻に増え続ける子どもの諸問題の大きな要因の一つとされています。

今、ボードゲームが注目されるわけ

- デジタルゲームとの大きな違いは、人とともにいるということ。表情やしぐさから相手の心を理解したり、自分の気持ちをどう表現するかといった相互作用があり、思いやりやかけひきを学ぶことができます。
- 単にサイコロを振ってコマを動かすようなことではなく、流れの中に選択肢があり決断が求められる。ミスしても流れの中で回復可能で負けるくやしさと失敗からの学びもあります。
- 良質のボードゲームには発達成長に役立つ遊びのエッセンスがいっぱい。子どもが大人と対等に遊べるというのも大きな魅力の一つ。短い時間で豊かな遊びと学びを体験することができます。
- 「楽しみながら思考力、コミュニケーション力がトレーニングできる」「初等教育に導入を…ボードゲーム体験は、早ければ早いほどいい」「複数人で遊ぶので会話するなど相互作用があり、人の成長につながるということがわかっている」「非認知能力を育てる」など、大学教授や専門家もおススメしています。

活動のご案内

詳しくは HP をご覧ください。
活動日時や場所は毎月 HP ブログで
お知らせしています。

- ・子育てのワークショップ
- ・入退出自由のボードゲーム遊び場
- ・各種地域イベントにブース出展
- ・保育園など子ども関連機関に出張開催
- ・心の子育て研修会開催
* 講師依頼お受けしています。
- ・お子様の発達・性格・しつけなどの個別相談
* プライバシーは守られます
- ・ボードゲームのレンタルと販売

お気軽にお問い合わせください。

親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾

本来、子どものすべての発達成長は遊びを中心に展開するという考えの下、遊びのエッセンスが凝縮されたボードゲームを活用して遊びの機会を提供する市民活動団体です。スタッフは臨床心理士と教育福祉関係者。

人とかがわりあう楽しさ、自己主張と譲り合い、負けた悔しさや失敗からの立ち直りといった体験を重ねて、情緒や社会性を育み、いじめ、不登校、暴力といった子どもの諸問題の予防と軽減につなげたいと思います。楽しく心揺さぶられるワークショッププログラムは、自己肯定感と社会に生きる力が育つよう臨床心理士グループが企画構成しています。

